



■ 第17回都草通常総会を開催



5月29日(月)、京都観光文化を考える会・都草の第17回通常総会が、上京区の京都府庁旧本館旧議場で開かれました。旧議場での総会開催は、コロナ禍以前の令和元年以来、4年ぶりです。

総会に先立ち京都市歴史資料館長、京都産業大学名誉教授で都草顧問の井上満郎先生にご挨拶いただきました。

総会では、議長に豊田博一理事が選任され、総会の出席者数が委任状を含め277名と会員総数の半数を超えているとの報告があり、豊田議長が総会の成立を宣言、議事が開始されました。

総会での議案は、第1号議案：令和4年度事業報告、第2号議案：令和4年度活動決算、第3号議案：役員を選任に関する件、第4号議案：令和5年度事業計画、第5号議案：令和5年度活動予算の5件でした。令和4年度事業報告では、コロナ禍の中で、活動全般のデジタル化を可能な限り推し進め、オンライン会議、オンライン講座、YouTubeでの発信などが本格化し、都草活動の合理化・効率化がさらに向上したとの報告がありました。また、令和5年度事業計画で、この3年間に就任した理事が7名となり、新しい理事が役員総数の約半数を占めることになりました。理事のダイナミックな入れ替わりは、将来へ向けて大きな力となるものと期待されると報告されました。各議案は賛成多数で原案どおり議決、承認されました。

今回の通常総会で松枝しげ美氏、西野嘉一氏、芦田喜雄氏、須田清司氏の4名が理事を退任、水本博氏、相場まり子氏、水谷美智子氏、八木澤哲雄氏の4名が新たに理事に選任されました。また、高橋明俊氏も監事を退任、新たに西野嘉一氏が監事に選任されました。尚、総会後に開かれた理事会で、退任した松枝しげ美副理事長の後任に岸本幸子理事が副理事長に選任されました。(理事 保科 秀行)

■ 4年ぶりの観桜祭の案内を担当して



私は案内時に、来場者の年齢・人数・男女のちがいなどに合わせて案内を始めます。まずは、知事室のことを説明したあと、男性の方なら文化庁の建物や東山の眺望の話を、年配の女性なら「菊の御紋」の話題から入ります。女性同士で来られたらドラマや映画のロケに使われた話をします。若い方なら「写真撮ってもいいですよ」などと言うと、まさに“つかみはOK!”です。皆さんどんどん話を聞いて下さいます。こちらも楽しくなります。

また大阪府庁の建物にもアカンサスのデザインがあることなど、逆に私の方が教えてもらうこともありました。

コロナ禍も収まりつつあり、大勢の来場者があるなか今回は外国の方の来場もありました。この方は比叡山をご存知なかったのに大文字山が新しくできた3号館のガラス越しに見えたことに感激されていました。外国の方には、五山の送り火で山に火が灯ることの方が感動するのかと私も驚きました。

いろいろな経験をして、とても楽しい時間を過ごせました。(会員 金田 弥生)

■ 新任理事「自己紹介」



この度、理事に就任しました水本博と申します。先輩方のご指導を受けながら、一つずつその役割を果たしていこうと考えています。

私が生まれ育った家の近くには、上御霊神社や相国寺、京都御所などがあり、子供の頃はよく遊びに行ったものでした。京都で教職についてからは、勤めていた学校の地域に残っている史跡を探しては、生徒と一緒に歩くのが大きな楽しみでした。

退職後も、都草でその楽しみが続けられているのは、私にとって幸せなことだと感謝しています。これまでやってきた京都御苑・御所のガイドに加え、これからは受託事業のガイドも担当します。今までよりも責任ある仕事をしていくこととなりますので、心を引き締めてがんばりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

(理事 水本 博)



今年度から理事に就任することになりました相場(あいば)まり子と申します。私は会員事業部門の文化交流部会、都草講演会、そして広報部の『都草だより』を担当します。出身は秋田市ですが、学生時代から半世紀以上京都に住んでいます。産業保健師としての職場は大阪淀屋橋・心斎橋でしたので、定年退職するまでは京都でゆっくり過ごすことができませんでした。

都草には、京都ウエルカムサポーター養成講座で同期の方から誘われて 2019 年に入会しました。入会してすぐ大船鉾支援活動に参加し、2020 年から月に 2、3 回は京都府庁旧本館旧議場で案内をしております。これからは会員の皆様が参加したいと思える事業をいろいろ頑張りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(理事 相場 まり子)



理事就任の承認ありがとうございました。大阪生まれで奈良県や三重県に転居し、2 年前に橿原市から京都に移り住みました。昔から京都は好きでよく訪れていましたが、長男一家が居を構えてからはより京都が身近になっておりました。

もともと旅行が趣味で国内海外を問わず出かけていたのですが、コロナ禍で叶わなくなりました。それもあって京都の街歩きを楽しんでいる時に都草のことを知り、昨年完全リタイヤを機に入会、美化活動や歴史探訪会などに参加しておりました。さまざまな活動に参加するたびに、会員の皆様の深い知識と熱い思いに圧倒されています。微力ではありますが、ご指導いただきながら都草の活動の一翼を担えればと思っています。よろしくお願いいたします。(理事 水谷 美智子)



今年度から、理事に就任いたします八木澤哲雄と申します。都草わくわく倶楽部・祇園祭研究会を担当します。栃木県日光市出身で、子供の頃からお祭り好きでした。

大学以来ずっと漢方薬の道を歩んでいます。漢方医学は「陰陽道」や「風水学」などと同じく「易学」が基礎になっていて、暦や風習、祭礼文化などと共通する概念が多いことに気がつきました。

祇園祭には 20 年ほど通い、北観音山の作事方に携わるようになり、2016 年には京都市へ転入、都草には 2019 年 9 月に入会しました。これからも皆様のご指導をいただきながら、少しでもお役に立てるようお手伝いしてまいります。よろしくお願いいたします。(理事 八木澤 哲雄)